

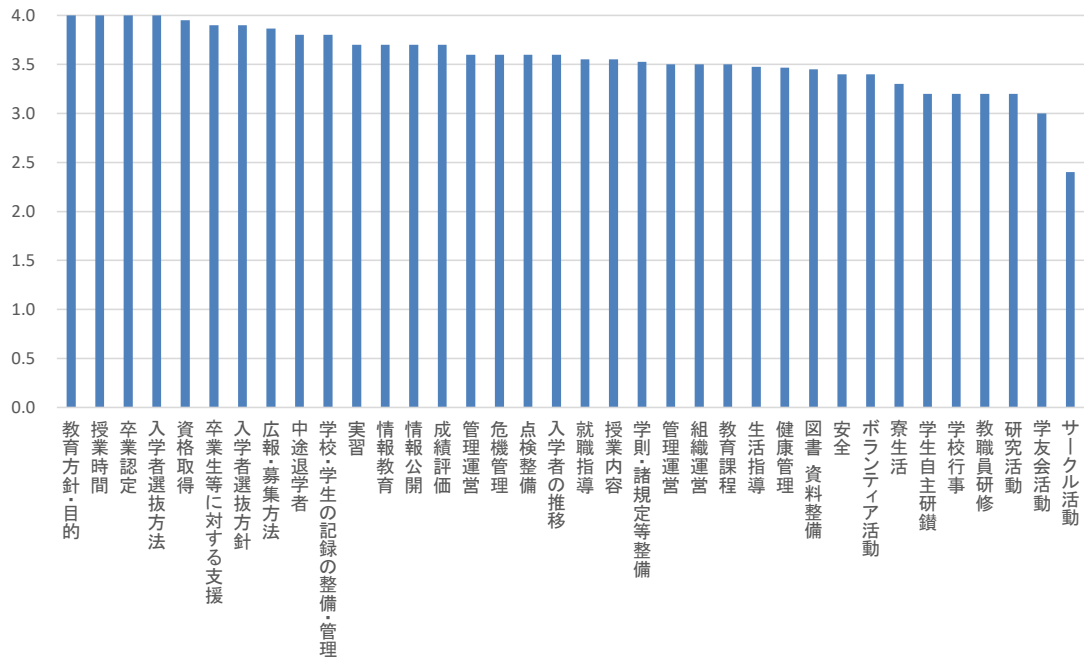
学校評価(学校自己評価・学校関係者評価)

I 学校自己評価結果について

領域	大項目	大項目平均点	中項目	中項目平均
教育方針	教育方針・目的	4.0	保育系専門学校として適切な教育方針・目的である	4.0
			学校・学生の実態を適切にふまえている	4.0
教育指導	教育課程	3.5	学生の学習能力が適切に把握されている	3.4
			教育設備・教材が適切に整備・管理されている	3.5
			教育課程の運営・点検が適切に行われている	3.6
	授業内容	3.6	学生が授業内容を適切に理解できる工夫がなされている	3.5
			授業内容が適宜見直しされている	3.6
	授業時間	4.0	規準、学則で決められた授業時間数が適切に確保されている	4.0
	情報教育	3.7	ICTの活用に適切に取り組んでいる	3.7
	資格取得	4.0	資格取得に向けて計画的に適切に取り組んでいる	4.0
			資格取得と教科の関係が適切に把握されている	3.9
	実習	3.7	現場実習への支援態勢が適切である	3.7
	卒業認定	4.0	規定に則って適切に認定されている	4.0
	成績評価	3.7	規定に則って適切に評価されている	3.6
			適切な評価方法で評価されている	3.8
	学生自主研鑽	3.2	学生への支援態勢が適切に整備されている	3.2
	図書・資料整備	3.5	種類・数量等は適切に整備されている	3.2
			毎年適切に購入・導入されている	3.7
学則・諸規定等整備	3.5	学則・諸規定等が適切に整備・管理されている	3.5	
		学則の点検・見直しを適宜行っている	3.2	
		学生便覧の点検を適宜行っている	3.6	
		厚生労働省等および文科省通知等に適切に準拠している	3.8	
学校・学生の記録の整備・管理	3.8	教育課程が適切に整備・管理・改善がなされている	3.8	
		行事記録が適切に整備・管理されている	3.4	
		シラバスが適切に整備・管理されている	3.8	
		学籍簿が適切に整備・管理されている	4.0	
		出欠記録が適切に整備・管理されている	4.0	
卒業生等に対する支援	3.9	就職先との情報交換が適切になされている	3.9	
学生募集	入学者選抜方針	3.9	保育系専門学校として選抜方針が適切である	3.8
			保育系専門学校として求める人材・人物像が明確である	4.0
	入学者選抜方法	4.0	入学者選抜方法が適切である	4.0
	広報・募集方法	3.9	推薦・一般、新規高卒生・社会人の募集方法が適切である	4.0
			学校見学会や多様な広報活動を積極的に行っている	4.0
入学者の推移	3.6	高校別・学科別動向が適切に把握されている	3.6	

領域	大項目	大項目平均点	中項目	中項目平均
学生生活	生活指導	3.5	保育系専門学校として生活指導方針が適切である	3.5
			教職員の共通理解が適切に図られている	3.8
			生活指導方針が適切に整備されている	3.0
			面談・カウンセリングを通して学生理解が適切に行われている	3.6
	健康管理	3.5	健診が適切に実施されている	4.0
			保健室が適切に整備・管理されている	3.0
			健康記録が適切に整備・管理されている	3.4
	安全	3.4	施設・設備の安全点検、安全指導が適切に実施されている	3.4
	学校行事	3.2	内容・回数等が適切に実施されている	3.2
	学友会活動	3.0	学生が自主的・適切に活動している	3.0
	サークル活動	2.4	活動への適切な支援・援助がある	2.4
	ボランティア活動	3.4	学生の取り組みが積極的・適切である	3.4
	寮生活	3.3	寮生の生活指導が適切に行われている	3.4
			寮生の相談支援が適切に行われている	3.2
中途退学者	3.8	指導・実態把握が適切に行われている	3.8	
就職指導	3.6	就職セミナー等を適切に実施している	3.2	
		就職支援体制が適切である	3.8	
		就職相談が適切に行われている	3.8	
		求人開拓が適切に行われている	3.4	
組織・運営	管理運営	3.5	組織・分掌が適切に機能している	3.5
	組織運営	3.5	分掌構成のバランスが適切である	3.4
			適材適所に適切に配置されている	3.6
	情報公開	3.7	情報の公開は適切に行われている	3.6
			個人情報適切に保護されている	3.8
危機管理	3.6	危機管理体制は適切である	3.6	
教職員	教職員研修	3.2	校内外の研修に適宜参加している	2.8
	研究活動		紀要は適宜発行されている	3.6
施設・設備	管理運営	3.6	施設・設備の管理運営は適切である	3.7
	点検整備		点検整備は適切に行われている	3.5

I 学校評価の概要



Ⅱ. 学校関係者評価の実施について

令和3年度の学校関係者評価は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学校自己評価及び学生のアンケートなどのデータをもとに、各学校関係者評価委員の評価をいただいた。また、各委員には本学院の教育活動への参加や視察をお願いし評価いただくようにした。

Ⅲ. 学校関係者評価委員からの主なご意見(概要)

主に学生自己評価アンケートを踏まえた教育指導領域関連について、多くのご意見(評価)をいただいた。

- ① コロナ禍において、資格取得のための実習が計画通り進まないなか、様々な工夫と努力で乗り切っている。専門学校ならではのきめ細やかな指導を今後も継続してほしい。
- ② 日々の学習において、学生の意欲を高める工夫がほしい。校外活動に参加し、「学ぶ」必要性を実感させてほしい。
- ③ 学生の授業における自己評価結果を踏まえた取り組みが必要である。
- ④ コミュニケーション能力を高め、自分の意見をしっかり表現できるための授業や教育活動を一層推進をしてください。
- ⑤ コロナ禍において、遠隔授業が可能となる教育設備が整備されたのは良かった。
- ⑥ 退学に至る学生が毎年数名いることは残念。学校として未然防止策を一層、講じてほしい。
- ⑦ 実習後の振り返りを通して出てきた課題について、グループワーク等で学習を深め学生自身の気づきにつなげてください。
- ⑧ 教育活動全般を通して人間力UPのための取り組み(ボランティア、体験活動)を強化し、将来有為な社会人(保育者)として活躍してほしい。
- ⑨ 教職員の学生への手厚い指導が随所に感じられ、あたたかな気持ちになります。学生には、保育者として社会に出たときに大切にすべき生活習慣やマナーについて今後も粘り強く指導いただきたい。
- ⑩ 今後、学校評価を通して更なる改善を推し進めてください。
- ⑪ コロナ禍ではあるが校外交流活動や社会活動を通して学生のモチベーションを高めてほしい。

Ⅳ 総括

平成3年度に関する学校関係者評価では、前記7領域の各評価項目についての教育的課題等について評価いただいた。特に教育活動の主体である学生への指導の充実について、様々なご意見をいただいた。また、今般のコロナ禍のなか、令和3年度末には、リモート通信による教育施設・機器等の整備ができた。より良い学校運営のため、今後も学校関係者の皆様からの声に真摯に耳を傾け、社会に求められる保育者の育成に努めていきたいと考えています。